



今年度の農場部の目標は次の3つを重点目標としました。

①GAP教育の推進

- ・あきたこまちJGAP認証
- ・ミニトマト秋田県GAP認証／ハウスブドウ秋田県GAP認証

②実習や農ク活動による職業人教育

- ・農場実習の充実や体験実習、資格取得など実践的学びをとおした職業人育成
- ・農業クラブ東北連盟大会運営の成功

③農業関連進路指導

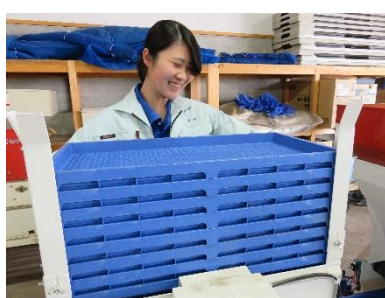
- ・就職指導や進学指導
- ・地域農業後継者の育成

「生物資源科・緑地環境科 1 年」播種実習 4 月 19 日(金)

新入生が入学してはじめての実習としてイネの播種実習を行いました。実習服の納品が間に合わず、体育着での実習となりました。種まきから育苗管理、田植え、収穫まで自分たちの手で行います。秋には、きりたんぽ実習、だまこ鍋実習を行います。



「生物資源科 3 年」あきたこまちJGAP 継続認証にむけた播種実習 4 月 23 日(火)
10/1 JGAP 本審査に向けたあきたこまち栽培が本格化しました。作物班 3 年生が中心となって種もみ準備をし、播種実習となりました。



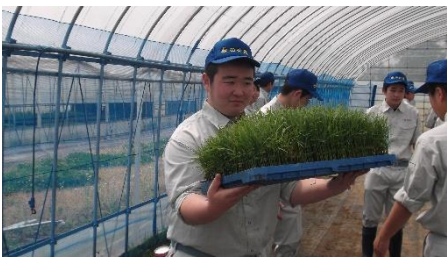
「生物資源科」野菜苗販売 5月7日（火）

毎年恒例の野菜苗販売を行いました。自分たちで育てたトマト、ナス、ピーマン、キュウリ他各品種の販売に多数の地域の方々にご利用いただきました。今年度もありがとうございました。



「農業と環境」1N・1R合同手植え実習 5月24日（金）

“あきたこまち”の苗を手植えしました。慣れない苗代の手植えに苦戦しながら10aを植え付けました。秋の収穫が楽しみです。



「生物資源科3年」田植え実習 5月23日（木）

3年生は機械による田植え実習です。男女とも田植え機の操作を実習します。安全管理・労働管理や施肥計画を実践にうつしてJGAP認証に備えます。



「秋田県GAP認証」への挑戦 第1回学習会 5月28日（火）



野菜班は水耕栽培「ミニトマト」について「秋田県 GAP 認証」を目指します。今年度栽培するミニトマトについて認証を得られるよう取り組みます。



果樹班は、パイプハウス栽培しているブドウについて「秋田県 GAP 認証」を目指します。作付け品種はシャインマスカット、巨峰、ピオーネです。

野菜班、果樹班とも地域振興局職員のGAP指導者に現状を把握していただき、教員も生徒も共に認証に向けての学習会を行いました。



「JGAP認証」への挑戦 ドローンによる薬剤散布学習会 5月28日（火）



作物班では、薬剤散布の効率化や安全な栽培管理を目的として、無人ヘリとドローン操作のリスク管理をしました。オペレーターに來校していただき、それぞれのメリット、デメリット、効率性や安全性、地域環境との調和や配慮など様々な視点からリスク評価と学習会を行いました。

とくに、自然環境や食の安全性に関わるリスクだけでなく、地位住民の生活安全との協調も大切であることを学びました。